

令和4年9月13日

在シアトル日本国総領事館 インターンシップを終えて

小林千尋

University of Washington

2022年7月中旬から9月中旬の約2か月間、在シアトル総領事館にてインターンシップをさせていただきました。大学在学中は国際学を専攻し、日米の国際関係を含む、外交や安全保障に注力して授業を履修していました。総領事館でのインターンシップでは、日本の外交における総領事館の役割を学ぶことができました。日本に帰国後は、民間企業に就職し、企業のサステナビリティ支援に携わる予定です。将来的には国連などの国際機関に就職したいと考えているので、インターンとして行政の立場や業務を体験でき、とても貴重な経験でした。

インターン中は、経済・広報文化班の一員として、SNS投稿案の作成、イベントへの参加、日本人留学生向けの滞在中の安全に関する講義など、様々なプロジェクトに携わらせていただきました。中でも印象に残っているのは、安倍元首相の逝去に際する弔問記帳の受付業務です。インターンとしての初めての業務が異例のもので、複雑な気持ちもありましたが、外国で日本を代表する機関が在外公館であること、ワシントン州の「日本」が総領事館であることを実感できる業務でした。また、各国総領事館やシアトル地域の大学から数多くの要人が訪れ、世界における日本の存在や安倍元首相の外交における功績を感じられる業務でもありました。

通常業務では、企業や省庁向けのレポート作成が印象に残っています。シアトルに拠点を置く大手企業のサステナビリティ関連の動向をレポートにまとめたり、太平洋北西地域で新しい事業を始めようとしている日系企業向けに現地情報をまとめたり、多方面の方が総領事館の持つ情報や人脈を必要としていることを知りました。また、それが故、経済・広報文化班のカバー領域が多岐にわたることや、現地コミュニティとの関係構築と継続が非常に大切であることに気付きました。総領事館が太平洋北西地域の日本の窓口として、多方面と関係を持ち、日米関係の根本を支えていることを学ぶことができました。

4年間の留學生活の集大成として総領事館でインターンシップの機会をいただけたこと、また、外交の現場を経験できたことを非常に光榮に思います。大学卒業したての未熟な私に、お忙しい中時間を惜しまず懇切丁寧に教えていただいた職員の方々には、大変感謝しております。インターンシップでの学びを活かし、今後のキャリアに役立てていこうと思います。短い間でしたが、本当にありがとうございました。



【当地に留学している日本人学生向けに講義を実施】